奈良市民だより
No. 503

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

市民のうごき

12月1日現在（前月比増）

人口　311,942人（703）

男　151,261（314）

女　160,681（389）

世帯数　100,087（224）

市史跡文化センターに映える朝日影

1983年　あけましておめでとうございます

奈良市長　木山　弘

昭和五十八年の新春をお迎えし、ここに市民の皆さまがたのご健勝を心からお喜び申し上げます。

新しい年のはじめにあたり、私は今や人口三十一万人を突破したわが奈良市を世界に誇る国際文化観光都市として、更に充実発展させることを基本方針として、古都奈良にふさわしい豊かなまちづくりをすすめていかなければならないと心新たにしているところであります。

さて、わが国を取りまく国際情勢は、貿易摩擦にも見られるように、各国の協調が乱れ勝ちで、相変わらず不確定な要素が強く、政治は不安定で経済は低迷しています。

この国際的な経済不況の影響をうけ、わが国経済の見通しも依然として楽観できない情勢にあります。一方、政府は行財政改革を柱に厳しい緊縮財政に取り組み、財政の健全化をはかろうとしています。これをうけてわれわれ地方自治体も厳しい対応をせまられるわけですが、その中にあっても私は日本人の心のふる里である奈良市の新たな発展のため、努力してまいる所存でございます。

まず、三十万都市としての都市基盤の整備であります。

道路、河川の整備促進、布目ダム建設による上水道の完備、十カ年計画による下水道網の整備、清掃工場の拡充整備、教育・スポーツ施設の整備など、生活環境の充実のため、強力に施策をすすめているところであります。

なかでも、旧奈良郵便局跡地に建設を進めている中央公民館は来春完成する予定で、市民の生涯教育の新たな拠点としてご活用いただきたいと存じます。また福祉の核として平城ニュータウン内に計画している総合福祉センターは、本年より建設に着手し、年次計画で整備してまいります。

次に奈良らしい奈良のまちづくりであります。従来からある貴重な文化遺産の保存整備をはかると共に、平城宮跡の発掘調査の進展にともない、懸案だった朱雀大路の復元を本格的にすすめ、奈良市のシンボルゾーンとして整備すべく関係機関と折衝を続けてまいりたいと存じます。

また、昨年完成いたしました史跡文化センターは、市民の文化活動の拠点として、大いに活用をはかり、文化祭、市展なら、美術展などを開催すると共に、宮跡庭園の整備をすすめ、新しい奈良の名所にいたしたいと考えております。私は、古い文化財はもちろんのこと、これら新しい観光資源や施設の整備、更には国際ホテルの建設、国鉄関西線を中心とした鉄軌道や近郊都市と結ぶ幹線道路の整備促進をはかることによって、奈良市の活性化を推進してまいりたいと存じております。

人権尊重については、一層の努力を続けてまいります。あらゆる差別のない、明るいまちづくりのために、さらに啓発活動の積極的な充実をはかってまいります。

青少年の健全育成は、日本の将来にとって重要な問題であります。明るい人間性豊かな青少年の育成のために、市民ぐるみで取り組んでまいりたいと存じております。

市民待望の昭和五十九年のわかくさ国体の主会場となる鴻ノ池運動公園については、早期に整備を完了し、国体開催に万全を期してまいりたいと存じております。

終わりに、新しい年が市民の皆さまにとりまして明るく健康でご多幸な年でありますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

奈良市議会議長　岡田　清三郎

市民の皆さま、あけましておめでとうございます。

昭和五十八年の新春を皆さまと共に、お祝いできますことは誠にご同慶にたえません。

私は、昨年六月の市議会定例会におきまして、議員各位のご推挙により、四度市議会議長としての重責に任ぜられ、誠意と努力をモットーにつとめて参りました。

おかげをもちまして、円滑な議会運営のもとに所期の目的を達し、越年することができました。

これは、ひとえに皆さまのご支援とご協力のたまものと深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、昨今の内外情勢に目を転じますとき世界経済は引き続き低迷の域を脱し得ておらず、わが国におきましても経済は安定的低成長を基調としており、加えて財政再建並びに行政改革の推進という大きな課題が横たわっております。

このような状況の下、自治体においてもその影響は大きく、行政運営上幾多の問題が提起されておるのであります。

このことは、本市におきましても例外ではあり得ません。

従いまして、市政を取り巻くこうした種々の要因によく対処して、将来展望の上に立った明るく、住みよい街づくりを推進するためには議会の権能に俟(ま)つところ、なお一層大きなものがあると思料するものでございます。

また、行政需要が多様化を極める中、限りある財源の最も有効な執行が望まれるところでもあります。

こうした現況下、私は理事者との密なる連携を保ちつつ、議決機関としての使命を全うし、市民皆さまの負託にお応えするべく心も新たにいたしておるところでございます。

年頭にあたり所感の一端を申し述べますと共に、皆さま全ご家庭のご清福となお一層のご繁栄をお祈り申し上げ新年のごあいさつといたします。

謹賀新年

奈良市議会

発行＝奈良市役所広報公聴課（奈良市二条大路南1丁目1番1号）　電話（34）1111番　〒630　毎月1日・15日発行　全戸配布　　印刷＝㈱池田出版印刷社

老人保健でお医者さんにかかるには

ことし二月一日から新制度が行われます

老人保健法の制定に伴い、昭和五十八年二月一日から満七十歳（寝たきり老人等は満六十五歳）以上の人が医療にかかるときは、その費用をつぎのように一部負担することになりましたので、ご注意ください。

【対象者】医療保険の加入者（被保険者、組合員および被扶養者）のうち、満七十歳以上の人と満六十五歳以上満七十歳未満の寝たきり等の状態にある人。「寝たきり等の状態にある人」とは次のような障害のある人をいいます。文字通りの「寝たきり」の人とは限りません。

①両眼の視力の和が〇・〇五以上〇・〇八以下②両耳の聴力損失が八〇デシベル以上③平衡機能に著しい障害がある④咀嚼（そしゃく＝よく考えて正しい意味を理解する）機能を欠く⑤音声または言語機能に著しい障害がある⑥両上肢の親指および人差し指か中指を欠く⑦両上肢の親指および人差し指か中指の機能に著しい障害がある⑧一上肢の機能に著しい障害がある⑨一上肢のすべての指を欠く⑩一上肢のすべての指の機能に著しい障害がある⑪両下肢のすべての指を欠く⑫一下肢の機能に著しい障害がある⑬一下肢を足関節以上で欠く⑭体幹の機能に歩くことができない程度の障害がある⑮前各項のほかに、身体の機能の障害または長期にわたる安静を必要とする病状が、前各項と同程度以上と認められる状態であって、日常生活が著しい制限を受けるか、または日常生活に著しい制限を加えることを必要とする程度のもの⑯精神の障害で前各項と同程度以上と認められる程度のもの⑰身体の機能の障害もしくは病状または精神の障害が重複する場合で、その状態が前各項と同程度以上と認められるもの

これはおおむね身体障害者手帳一～三級及び四級の一～三号に相当する人です。

なお、生活保護法による医療扶助を受けている人はこの制度の対象にはなりません。

【医療の開始時期】医療は七十歳（寝たきり等の人は六十五歳）の誕生月の翌月から開始されます（ただし誕生日が一日であるときはその月から）。

【医者のかかり方】医者にかかる場合は必ず「健康手帳」と「保険証」を保険の医療機関の窓口に提示して診療を受けてください。これは「健康手帳」によって受診資格を、また「保険証」によってどの医療保険の加入者であるかを明らかにするためです。

【一部負担金】老人保健の医療を受ける人は、次の一部負担金を医療機関の窓口で支払うことになっています。

外来（通院）＝一ヵ月四百円（支払いは月の最初の診療日に）

入院＝一日三百円（二ヵ月＝被用者保険の本人は五十日＝に限り支払う）

ここでいう一部負担金は初診・再診に関係なく月に一回四百円を医療機関ごとに支払うものです。総合病院の場合は各診療科を一つの医療機関として取り扱うことになり、各診療科ごとに一ヵ月四百円支払います。ただし医師の指示により複数の診療科で受診した場合は四百円ですみます。総合病院以外でも一つの病院等に医科と歯科のあるような場合、医科、歯科はそれぞれ別の医療機関として扱われるので両方ともに四百円支払います。

入院の場合は一日三百円ずつ支払います。ただし、同一の病院・診療所につき、二ヵ月を超えて入院したときは、二ヵ月（被用者保険本人の場合は五十日）を超える期間については一部負担金を支払う必要はありません。たとえば四月五日から七月五日まで入院した場合は四月五日から六月四日までの期間について一日三百円を負担します。

なお、入院中に七十歳の誕生日を迎え、老人保険の医療に切り替わった場合は、入院の初日から二ヵ月（五十日）の支払期間を算定します。したがって切り替えのときに二ヵ月以上入院している人は支払う必要はありません。切り替えのときに二ヵ月（五十日）にならない人は、二ヵ月（五十日）までの残りの期間だけ支払えば足ります。

【医療費の支給（償還払い）】次のような場合には、かかった医療費を一時支払い、あとで市へその費用を請求すると、その必要ありと認めた場合に限り、払いもどしを受けることができます。

①緊急やむを得ない状況で、「近くに保険の医療機関がなかった」などの理由で保険医の診療が受けられなかった場合。

②旅行中などの急病で健康手帳を持っていなかったり、保険の医療機関で診療を受けられなかった場合。

③骨折、脱きゅうなどのけがで、柔道整復師の施術を受けたとき、また治療上医師があんま、マッサージ、はり、きゅうなどの治療の必要を認めた場合。

④治療上必要なコルセットなどの治療用具を購入した場合。

⑤基準看護がない医療機関へ入院していて、重症のため付き添い看護を頼んだ場合の付き添い看護料。

なお、健康手帳の交付については対象者あてに郵送で通知します。

また、六十五歳から六十九歳までの人（寝たきり等の状態にある人は除く）で、現在の老人医療費の助成を受けている人についても、二月一日から前記と同様の一部負担金を医療機関の窓口に支払うことになります。またこれに伴い、現在お持ちの老人医療証は新しく変更になりますので、一月三十一日までに該当者に新医療証を郵送します。

以上についての問い合わせは市福祉第一課（二条大路南一丁目、☎(94)一一一一）へ。

成人式

進んで参加を

華美な服装は避けて

新成人の門出を祝う市の成人式は、すでにお知らせしました通り、一月十五日午前十時から市史跡文化センターで行います。

お招きする成人は、昭和五十九年から〝学年制〟をとるため、ことしはその過渡的な年として、昭和三十八年一月一日～同年四月一日生まれの人たちとなります。

該当する新成人千三百六人には昨年十二月末に案内状を送っていますが、昭和三十七年四月二日～同年十二月三十一日生まれで他市町村から転入し、まだ成人式をすませていない人や、該当者で案内状が届かない人は、社会教育課（二条大路南一丁目、☎(94)一一一一）へ事前に連絡してください。

なお、参加者は華美な服装は避けて、できるだけ平服で出席してください。

また、会場の史跡文化センターには駐車場がありませんので、市役所裏の駐車場を利用してください。

国座振替

国民年金保険料に今春から導入

市では、今年四月から国民年金保険料を銀行などの加入者預金口座から自動的に振込める「口座振替制度」を導入することとし、その申し込みを一月から受け付けます。この口座振替を希望される人は、①国民年金手帳か納付通知書②利用する口座の預金通帳③同通帳の印鑑を持って、預金口座のある金融機関へ行き、備え付けの「口座振替依頼書」で申し込んでください。くわしいことは市国民年金課（☎(94)一一一一）へお問い合わせください。

口座振替による納付は、三カ月ごと四期に分納する「期別納付」と、一年分をまとめて納付する「全期前納」の二つがあります。それぞれの保険料の振替はつぎのようになります。

【期別納付】

。申し込み月が一～三月は第一期（四・五・六月分）保険料（六月二十六日振替）から振替。

。申し込み月が四～六月は第二期（七・八・九月分）保険料（九月二十六日振替）から振替。

。申し込み月が七～九月は第三期（十・十一・十二月分）保険料（十二月二十六日振替）から振替。

。申し込み月が十～十二月は第四期（一・二・三月分）保険料（三月二十六日振替）から振替。

【全期前納】

振替日は四月二十六日。今年二月末日までに申し込むと昭和五十八年度保険料を預金口座から振替納付することができます。その場合は従来の納付書にかえ、口座振替納付通知書をお届けしますので、確認してください。

※振替日が休日のときは翌日になります。

昭和58年度国民年金保険料

定額保険料	月額	5,830円
	期別納付額（3カ月分）	17,490円
	全期前納額（12カ月分）	68,270円
定額＋付加保険料	月額	6,230円
	期別納付額（3カ月分）	18,690円
	全期前納額（12カ月分）	72,950円

下水道処理区域に97戸

市の下水道工事が進み、このほどつぎの各町の一部計九十七戸で浄化槽のいらない水洗便所が使えるようになりました。

全市でこれまでの分とあわせて三万二千二百八十七戸が下水道の便益を受けることになりました。

船橋町▽北市町▽芝辻町

都計街路西大寺一条線に事業認可

市が計画中の都市計画街路西大寺一条線がこのほど県から事業認可されました。この西大寺一条線は近鉄西大寺駅北口の西大寺栄町地内から奈良ファミリーの西側を通り、山陵町字南代地内までを南北に結ぶ道路で、西大寺駅周辺の自動車交通の混雑の緩和策の一環として建設されるもので、幅二十㍍、延長三百九十二㍍。事業の施行期間は昭和五十七年十一月二日から昭和六十二年三月三十一日となっています。

これで西大寺駅周辺の都市基盤整備へ第一歩を、ふみ出すことになります。

同和問題を考える (43)

部落解放はどのように進められてきたか (11)

＜敗戦後のようす＞

第二次大戦に敗れたわが国は、かつて経験したことがないほど人的、物的に甚大な損害を受けました。全国の主な都市は焼かれてしまいました。都市の部落では戦災を受けた所がたくさんありました。大阪の西浜や広島の福島は爆撃や原爆によってほとんど焼失してしまいました。長崎の浦上の部落も原爆によって全滅に近い状態になりました。

人々はこれで西浜や福島や浦上の部落はなくなったと思いましたが、戦争が終わると、いなかへ縁故を求めて疎開していた部落の人たちはもとの部落へ再びもどってこなければなりませんでした。疎開先の農村でも仕事や食べ物や住居に困っていたからです。一時は分散しても、そこで経済的、精神的に安定した生活ができ差別がなくならなければ、またもとの部落へもどってくるしか仕方がなかったのです。

都市部落の人々は、部落の産業も戦争のためつぶされて失業者が町にあふれ、飢えとインフレと苦しい生活環境の中で暮らさなければなりませんでした。人々は日雇、土工、行商、その他雑業などでやっと暮らしを支えていました。

農村の部落でも、都市から多くの人々が流入して生活はますます苦しくなりました。そのうえ戦後農地改革によって、全国の小作地が解放されましたが、三反歩以下の零細農民が多い部落では、小作地の解放を受けた人は数えるほどしかありませんでした。全国の八〇数％の小作農が自営農民になったのに比べ、部落の農民は農地改革からも取り残されてしまいました。

このような状況の中で、戦後の日本は政治・経済・教育など各般にわたり民主的改革が行われましたが、その基本となるものは平和と基本的人権を守る民主主義の実現であります。このことは新しく制定された日本国憲法に明示されました。憲法第十一条には「基本的人権は侵すことのできない永久の権利として現在及び将来の国民に与えられる」と述べられ、第十四条には法の下の平等と差別撤廃がはっきりと規定されました。この憲法を生活の中に生かすことによって人権を守り、部落差別をはじめ、一切の差別をなくす社会をつくっていこうとしたのです。

＜部落解放全国委員会結成される＞

戦争中は活動の中止をやむなくされた部落解放の運動は戦後急速に復活してきました。昭和二十一年二月には全国水平社の伝統を受け継ぎ、「部落解放全国委員会」が京都で結成されました。敗戦によって社会の民主化が進められ、思想・信条・集会・結社の自由が認められ、婦人にも選挙権が与えられる等、男女同権の方向へ動き出してきました。

当時日本は民主主義になったのだから部落差別はなくなったと言ったり、民主主義が進めば部落差別など自然に解決していくから特別に取り上げる必要はないという考え方も少なくありませんでした。アメリカ占領軍も、同じ日本人が一部の日本人を差別するということを理解できなかったのでしょうか、部落に対する特別の行政措置を取らない方針をとっていました。政府も占領軍の意図を受け、戦争前まで融和的にいろいろやってきた同和行政を全く放置してしまいました。

しかし、部落差別は人々が考えるほどたやすくなくなるものではありません。社会が民主主義に変わっても、立派な憲法ができても、部落差別は生き続けている事実を見逃すことはできませんでした。部落解放全国委員会は部落の人々の生活の向上をはかり、真の民主主義社会をつくるために戦後間もなく結成されたのです。

ママさん特派員のお正月観

この「市民だより」を市民により身近なものとするため、市では昨年度から「ママさん特派員」制度をとり入れ、五人の主婦に委嘱して〝主婦の眼〟で見た奈良のまちをはじめ市の施策などを丹念に取材してもらい、そのレポートを「市民だより」に掲載するなど、幅広く活躍してもらっています。新春にあたり、五人の「ママさん特派員」がどのように〝お正月〟をとらえているかを、それぞれに書いてもらいました。

この奈良に住んで

塚崎岐保子（三碓町）

東京で生まれ育った私には、親族や友達など自分とかかわりのある人はすべて東京住まいです。そんな私が、夫の転勤とともに奈良に住み、いつか十回目のお正月を迎えました。

ある年は八坂神社へ「おけらまいり」をして京のお正月を味わい、またある年は実家で親族とともににぎやかにお祝いをし、さらにある年は伊勢の民宿でのどかに初春を楽しむといったようにいろいろなお正月をすごしてきました。

そして、最も印象深く、今も心に残っているのは、真夜中に大仏さまを拝んだことです。夫がどこから聞いてきたのか、除夜の鐘の鳴る時刻になると、大仏殿の正面の上部にある扉が開き、中門付近から大仏さまのお顔が見られるというのです。

ぐっすり眠っている子どもをわざわざ起こし、雪だるまのように洋服を厚着させて大みそかの真夜中の大仏殿に行きました。中門前には大きなかがり火がたかれ、大仏殿を仰ぐと堂内の灯明の明かりに、ほのかに浮かびあがった大仏さまの顔が見えます。大仏さまは神々しく、ことのほか大きく見えました。子どもも思わずねむ気もさめて「大きいねえ、お母さん」と言ったのを覚えています。

印象的なことといえば、またこんなこともありました。関西地方に春を告げると言われている「お水取り」ですが、その年はまだまだ寒く、当日も大雪で、夜になってもいっこうに降りやみませんでした。

大松明（おおたいまつ）の通る二月堂回廊のらんかんの下は雪で真っ白。その雪に足をとられてころがる子どもを、助け起こすのも忘れ、私は〝火の粉の舞い〟に見とれていました。まわりの木には、満開の桜のように雪がつもり、しんしんと降る雪と、もえるたいまつからこぼれ落ちた火の粉との対比の美しさは本当に夢のようでした。

伝統的ないろいろな年中行事が、四季折々の自然の変化ととけあってかもし出す、奈良独特の風情を、印象的なものとして私の心に残してくれます。

お正月雑感

宮本郁江（押熊町）

私たち夫婦は奈良に住んで十年にもなるのに、いつまでたっても奈良をみる目は〝旅人〟のそれなのです。いつこの地を離れるかも知れないという思いが、〝旅人〟としていつまでも奈良に関心をもたせ続けているのかも知れません。しかし故郷とはいえ、あまりにも殺風景な東京と比べ奈良ははるかに彩りが多く歴史が深いところだからなのです。なにげない神社、なにげない石一つにもなにか意味があり、そしてなつかしい思いをいだかせてくれるのです。

子どものころ、「お正月」は心がうずくほど待ち遠しいものでした。終戦後間もない時期で、物もまだ十分にない、お年玉も着物も、ごちそうも遊びも、今とは比ぶべくもない質素なお正月でしたが、私たち子どもの気持ちは童謡にうたわれている「もういくつねるとお正月」そのものであったように思います。

家の内外をはき清め、松飾りをつけ、鏡餅（かがみもち）、しめ縄を飾って迎えるお正月。昨日までの慌ただしさがまるでうそのように静まり返ったなか、ピーンと張りつめた気持ちで迎える元日の朝が、私は今もたまらなく好きです。

新年祝賀の行事は奈良朝のころに始まったと聞いていますが、雑事に追われ、来し方を顧みる暇もなく明け暮れている身に、一年という暦の折り目を認識させ、反省と奮起の機会を与えてくれた先人の知恵に、私は深く感謝したい気持ちです。

わが家では毎年特別なことは何もしていませんが、形式通りのことはきちんとして元旦を迎え、まず家族で氏神参りをします。その時は、いつも何気なく通り過ぎる道、田んぼ道、山道や池の堤などをできるだけ歩いて、身近かな自然を見直す機会を持つようにします。その次に、近辺の名のある社寺へ行くことにしていますが、数度の転勤のおかげで、富山の立山神社、倉敷の阿知神社、住吉大社、紀三井寺など様々の社寺が今も思い出に残っています。

なかでも、白銀の立山連峰を仰いで迎えた富山での三度のお正月は思い出深く、越中守に赴任した大伴家持が都を思い詠んだ歌の数々が身にしみたものです。

またお正月の一日、私たち家族は先祖の墓参りをします。子どもたちとお墓のそうじをして平素のごぶさたをおわびします。この他にも、お客さまを迎えたりで、主婦は正月三ケ日、目いっぱいの忙しさですが、夜々子どもたちと百人一首に興じるのもわが家の大きな行事の一つです。周りの人たちがスキー、旅行、里帰りするのを横目に見ながら、この平凡なわが家なりのパターンを繰り返し長年守って来たのは、老若とりまぜた大家族であり、主人が形式儀礼、故事来歴を好む気風だからかもしれませんが、よく言えば、私たちがこれまで大過なく過ごしてこられたあかしであり、裏を返せば、転勤やマイホームづくり、子どもの教育等と、経済的にも時間的にも手いっぱいの生活で、華やかなプランなどわいて来ようもなかった一庶民の生き様でもあるともいえます。

それにしても平常は仕事に学業に追われ、野暮用に狩り立てられた者たちが、新年の数日、しっかりと寄り集い、家を感じ、祖先を思い、伝統食を味わい、日本古来の遊びに興じていにしえを思い、足元の土を踏んでわが身の成り立ちを確かめる。そしてまた新しい年に向かって思いおもいにはばたいていく――。そんな日本の平均的お正月が、私にはかけがえのない素晴らしいものに思われます。

憧れの奈良の地を永住の地と定め、春日さんの氏子にならせてもらったつもりで迎える後半生のお正月を、私は、大和の文化を支えた数多くの先人の跡をたどりながら、新しい大和の民としての生き方をさぐる原点としたいと思っています。

唐招提寺・薬師寺あたり

山元洋子（山陵町）

初詣（はつもうで）は奈良の寺寺とそまことにふさわしい。寺々にはいずれおとらぬ由緒・故事来歴、重要文化財・国宝級の品々が数多く安置されているめでたさ、ぜいたくさ。これはお正月に拝んでこそ、まことにふさわしい事と思う。

それもさりながら、たとえば唐招提寺の鼓舎那仏（るしゃなぶつ）、その御前に手を合わせるとする。心に自然に浮かんで来るのは世界平和か、国家安康か。「お金がもうかりますように」とか「試験にうかりますように」とはどうしても祈れない。

これが京都の寺々であると、たとえば北野天満宮、「高校に合格しますように」といった絵馬が所狭しと掛け連らねてある。京都では、御仏（みほとけ）も神々も何やらこのような〝庶民の願い〟に興味や関心がおありのように見受けられる。

奈良の御仏は、人々の日常的な小さな願いには関心もなく、その御前に立つ人々をはるか永遠へと拉（らっ）し去る半睡の瞑、不可知の微笑。

奈良の寺々は人少なのもよろしい。特に唐招提寺は骨太の建造物も良いが、裏手の少しさびれた池のほとり、庭のたたずまいもよろしい。そこからまた、細い旧道をおぼつかなくたどりながら、薬師寺に向かうのも楽しい。

何ゆえ奈良の枕詞（まくらことば）が「あをによし」であるか、新装なった薬師寺を見れば小学生でもたちどころに納得できるであろう。青（緑色）、赤、はたまた日輪に映える金の鴟尾（しび）。

その昔、「寺に集う」とは、すなわち文化センターに行く事、ないしは流行の最先端を探究しに行く事であったろう。漆黒のみづら髪美しき公達（きんだち）、裳裾（もすそ）ひるがえす豊満な天平の美少女達。かつて、寺は老人ではなく若者の集う場所としてふさわしい所であったろうか。今もこの薬師寺の修行僧の面に精気がみなぎり、何やら僧兵の雰囲気を漂わせているように思われる。

千年の歳月は人々の意識を変える。かつて文化の中心であった寺々は、今では観光地と化した。今、若者の集う大学のキャンパスも、そのうち老人の暇つぶしの場となるかも知れない。我々の行く手にあるものは…。御仏の前であまねく全人類に思いをはせ、寺庭に立てば、我が人生の涯（はて）を思う。まこと奈良の寺々は初詣にふさわしい聖域と思われる。

ボランティアを取材して

沢田妙子（西登美ケ丘五丁目）

明けましておめでとうございます。

「ママさん特派員」という響きのいい名前に憧れ、応募したのが動機です。

私は「ボランティア活動とは何だろう」というテーマに取り組みましたが、「ボランティアの重大さ」にただびっくりしています。

「市民だよりの記事読みましたよ」と、思いもかけない方からもお声をかけてくださってびっくりしています。一つの記事を書き、取材のむつかしさ、記事の重みというものを感じました。そして、今までのんびりと遊んできた自分自身が恥かしく、あせるような気持ちでいっぱいです。

そこで、私も少しだけですが、まず最初に「一人暮らし老人のための、みそづくりの奉仕活動」の仲間入りをさせていただきました。みなさんは温い雰囲気の中で、何らかの形でボランティアの活動をなさっておられる方ばかりです。

ボランティアの方々は〝小さな親切〟から輪が広がり、奉仕活動をしてくださっていますが、心の底から大きな拍手を送りたいと思います。そしてスポットが当たる場所でなくても、ご自分の自由な時間をさいて、また家族の大きな協力があって勉強したり、ミーティングを重ね、細く長く、いろんな場所で活動をなさっています。

また、取材を通していろいろなボランティアの方々とお目にかかり、お話をうかがいましたが、本当に忙しく動きまわられている姿が目に映り、ほんの入り口に足を入れさせていただいた私ですが、「ボランティアとは何だろう」というむつかしいテーマに取り組んで本当によかったと思っています。

いま、年頭に際して思うことは、これからは少しずつ自分のまわりを整理して、何か教えていただきながら人のため、自分のために有意義な時間を持ちたいと考えています。

わが家の平和

河本裕子（二条大路南四丁目）

歳月のたつのは早いもので、いつのまにか私たちにも十回目の結婚記念日がやってきました。この間にはいろんなことがありました。自分自身さまざまな経験をして、喜怒哀楽の中で人生の厳しさを肌で感じたり、また子どもの成長に喜んでいたりして、ふと自分を見つめなおしたとき、結構いい年になっている自分に驚きます。

わが家では、昨年まあまあ健康な日々をおくってこられたことに感謝するとともに、新年にはまた新たな希望を抱いています。生意気で、そのくせ恥ずかしがりやで、外で遊ぶことの大好きな長男も今年は小学二年生。大阪から奈良に引っ越してきたころは一歳になったばかりで、ヨチヨチ歩きをしていたのがついこの間のことのようです。

下の男の子も、今年三月には二歳の誕生日を迎えるのですが、日毎に可愛さが増し、こちらの言っている言葉も十分理解できるようになりました。現在はわが家の中の中心的存在で、家庭内を明るくしてくれています。

子煩悩でおもいやりのある夫は、会社から帰ってくるなり子どもを抱きあげて頬ずりし、トイレへ入るにも抱っこしたまま行く有様です。また子どもたちが寝たあと、よくグラスにウイスキーを入れ、子どもたちの寝ているまくらもとへ行き、二人の子どもの寝顔をうれしそうに見つめながら飲むのです。そのときに決まっていうことは、長男に向かって「おまえとは長い付きあいになるなあ。無事に大きくなれよ」。下の子には、毎日顔を会わしながら「だいぶ大きくなったなあ」といい、毎日同じパターンで二人の子どもの顔にキスをします。これが夫の一日の疲れをいやす、一番のやすらぎのときだと思います。〝まされる宝子にしかめやも〟―子どもこそ本当に宝物だとつくづく思います。

プライベートなことばかり書き連ねましたが、こんな私たちが新年に望むことは「LOVE&PEACE」、そうジョン・レノンですね。わが家も平和、まち中が平和、奈良市が、日本が、世界が平和になればと思います。

私たちが結婚したころ、アフリカのビアフラのガリガリにやせ細った子どもの写真がよく報道され、目に焼きついています。あの子どもたちは今どうなっているのでしょうか。お金さえあれば何でも買える日本ですが、いつまでこの繁栄が続くのかしらと不安に感じることがあります。でも私にとっては今年もまた平凡で健康な日々が送れることが最大の幸福だと思います。

市政の夢と希望

市長を囲む新春座談会

奈良市はいまや人口三十一万人を突破し、国際文化観光都市としてさらに発展を目指して奈良らしい奈良のまちづくりを着々とすすめています。

また、わかくさ国体を来年にひかえ、関連事業をはじめとして活力のある飛躍の年を迎えました。

そこで三人の市民代表にお集りいただき、木山市長を囲んで、'83年にかける奈良市政の夢や希望を語り合っていただきました。以下はその概要を抄録したものです。

〈注〉座談会は昨年内に開いたものですが、文中の時間的な表現は一月一日現在に変えてあります。

またこの座談会の内容は一月一日（土）午後四時からと同五日（水）午後六時からの二回、それぞれ三十分間、奈良テレビ放送（UHF55チャンネル）で放映されます。なお、放送分については時間の関係上一部割愛してあります。

都市基盤の整備推進

奈良らしい奈良、そして活性化へ

司会　あけましておめでとうございます。'83年の年頭に当たりまして奈良市の夢と希望をみなさんに語っていただきたいと思います。

まず木山市長に年頭の抱負をおうかがいいたします。

木山市長　新年を迎え、心を新たにしているわけなんです。私は奈良市の行政の中で、相当長期にわたって、しかも奈良らしい奈良のまちづくり、また三十一万人口になった奈良市の都市基盤の整備といったような問題について、今年はひとつ手がけてまいりたいと思っております。

少なくとも五カ年、あるいは十カ年にわたるものもありますが、それらの手はじめを今年中につけて、そうして計画的に執行する目鼻をつけていきたいと思っております。

また同時に、奈良の町にふさわしい、もう少し文化的ないろんな活動ができるように市民のみなさん方の協力を得て、いろんな文化活動を手がけたいと考えております。

とくに長期的な建設的なものについては、いろいろとあるわけなんですが、たとえば、朱雀大路をなんとか復元するよう目鼻をつけたいと思っています。単に復元するだけでは意味がないので、そこを一つの核にして、そこらあたりにひとつ奈良の最も必要とするような奈良らしい施設を誘致したい、そんなことを手がけてまいりたいと思っています。

大きな事業としては、このほかにも、たとえば国鉄奈良駅西側の再開発とか、あるいは国鉄の列車基地の設置とか、これらは佐保の方にするんですが、そういう場合には、そこにはやっぱり停車場も必要になってくるなどいろんな問題が出てまいりますけれども、そういった相当長期にわたるものについては、これは市だけではやっていけないので、県の協力が必要なので、県の理事者、議会のみなさん方の協力を得ながらやらしていただかなければならないと思っております。

県都奈良市としては、もう少し都市基盤の整備と国際文化観光都市にふさわしい建設というのは、このあたりで相当の勢いをもってレベルアップしないと、他の三十万都市でもできているような施設がたくさんありますので、私はこの際にそういうものをひとつ新年度から手がけてまいりたい。そういうことに意欲を燃やしておるところです。

その内容としてはね、朱雀大路の問題、国鉄奈良駅西口の問題、あるいは第二阪奈道路を県がやっていただいているような問題、近鉄さんらが考えておられる東大阪生駒電鉄の軌道の問題、それから国鉄の列車基地の問題、そのほか福祉の町ですから身体障害者の総合の福祉センターを建てたいとか、さらにいろんな公民館活動の拠点となる中央公民館を建てるとか、そういうような諸問題を新年度に手がけるとか、あるいは二～三年で完成するものは早く完成するように、相当の馬力をかけて今年からやらせていただきたいと思っています。

そして文化的なまち、古都奈良として古い文化財は持っておるけれども、一向に新しい文化が無いやないかと言われるのは私としては面目ない。

それからまち自体を活性化していかなきゃいかんと、そういう事にももう少し配慮しなければと思います。

それからもう一つは、新しいベッドタウン的な要素も西郊地区の新しい町にはありますから、そういうところはやっぱり安息の地でなければいかんと、いろんな意味において住民が安心して暮らせる、そしていろんな生活に便利な諸施設をそのあたりに確保しなければいかんので、そういうことを今年は心がけてやっていきたいと思っております。

奈良の味もつ祭典に

「わかくさ国体」に大きな期待

司会　五十九年にわかくさ国体、そして身障者スポーツ大会の二つの大会が奈良市で開かれますが、これを機にいろんな面で奈良の発展を期待する市民が多いと思うんですが、市長いかがですか。

市長　国体は国民の祭典ですからね、なごやかに心通じた大会にせにゃいかん。そのためには私たちもメーンの会場を受け持っておりますので、この三月末にはすべての設備を完成させたい。そしてあと一年間は余裕の期間として細かい部分までぬかりなく整備していきたいと考えております。

それだけではなしに、それと相関連する道路とか公共の諸施設を、この際に県・市ともに整備してまいりたい。そういうことをすることによって、全般的に公共施設のレベルアップをして、市民にそういう面からのサービスもやっていかなきゃいかんし、国体そのものについてもスムーズに開けるよう努力しなけりゃいかんと考えております。

とくに私はね、国体はやっぱり国際文化観光都市奈良らしい選手・観覧者に対する対応がなければ成功したと言えんのじゃないか、そういう意味では「奈良へ行ってよかったなあ。さすがは古い都であり、そういう中であの祭典が行われて、心がなごやんで通じた。りっぱに心の触れ合いができたじゃないか」といわれるような、やっぱり国体は心の触れ合いの場という事を前提に、勝ち負けはその次だ、という考え方でやらせていただきたい。こんな機会こそ国際文化観光都市らしい国体を開きたいとこういう考えでおります。

司会　小林さん、主会場近くの佐保校区にお住まいということですが、会場整備で、日々変わっていく姿をご覧になって「国本も近くなってきたなあ」と、身近に感じられるんじゃないですか。

小林新太郎さん　競技場が近くにありまして、大変私たちも喜んでおります。国体開催までもう六百日そこそこじゃないでしょうか。私ら奈良市民として、ぜひ成功させていただきたいと思いますね。

市民の立場からということで、つぎの三つのことについてお願いしたいと思います。

その一つは、近代的な中に「奈良やなあ」というような特色のあるもの、そういうまちづくりを進めていただきたいということです。

司会　具体的にいうとどんな感じになるんですか。

小林さん　よそからたくさんおいでになるし、日本人の心のふる里ということですので、十分に印象づけられるようなまちづくり――大阪は大阪の味、京都は京都の味といったように、奈良には奈良の味がもっとほしいなと私は思います。

それから関係者だけの国体になっても困ります。県民も市民も不在にならないようにお願いしたい。

また終わったあと大きなメリットがあるような、われわれにもあとを使わせていただけるようなご配慮もお願いしたいと思います。

それからもう一つは、各地からたくさんの人がおいでになるんですから、道をたずねられたらわかりやすく親切に教えてあげるとか、道で会ったら「おはよう」とか「こんにちは」とか、こういうあいさつが市民の方からできるように、とくにみんなが気をつけたいと思いますね。そしてできれば市の方でそういうように指導をいただきたいと思います。

やっぱり国体というものは形だけのものに終わらず、市民一人ひとりの心の産物として残るようなものにしていきたいと、かように思っております。

司会　市長、いまのお話しについては、いかがでしょうか。

市長　ごもっともなご意見です。五十九年国体というのはね、奈良市内においても、県においても大きな契機になるわけで、これを一つのステップにせんといかんと思うのです。相当膨大な費用をかけていろんなものの整備をやっていく。その整備した施設が、後年において生かされるように配慮しなければいかんのやないか。そうでないと国体は単にその時だけのことで終わってしまう。

私たちが考えているのは、鴻ノ池運動公園にしても、あそこは運動公園として奈良に緑を残しながら、なおかつ運動したい人のためにジョギングコースも設けますし、その後メーンスタンドの内部でサッカーもできるようにする。あるいはその他のスポーツもできるように配慮をしていきたいと考えています。

単に国体の陸上競技さえやればよいということだと、国体が終わったあとは常時使われないというようなことになるので、そういうことのないように考えていきたい。

そんな施設がほしいなあと常常話し合っているんです。

司会　市長、皆さんから多くの奈良市全体を考えたいろんな夢が出てまいりましたが……。

市長　ごもっともなご意見です。国体について身障者スポーツ大会が行われるが、これも大事な大会ですので、心のこもった大会にしたいと先ほどお話がございました。

ボランティアのみなさん方なり、青年会議所のみなさん方なりのお世話になってこそ、そういうことができるもので、そういう意味において、福祉的な事業については、健常者がハンディをもった方々の中へ入って、お互いに区別なく交流し、「あなたはこれをやってください。私はこちらをやりましょう」と分担しながらやってもらうところに本当の意義があるんだと思い、全市的にそういうふうに心掛けてもらいたいと願っておるわけでございます。

また、ボランティア活動のセンター的なものということですが、これは考えたいことだと思います。ボランティアを申し出ていただく人、またボランティアの手を借りたいという人、そういった間の需給のバランスの仕組み――例えば「私はちょっと手があいているから……」あるいは「私はこれから一週間フリーなのでどんなことでもやりますよ」といっていただくボランティアの人、また受け入れ側で「私のところへ来てください」と願う人、さらには「今度はこちらでこんなのがありますよ」と中に入って調整するような機関、これら三者が自由に、気楽に出入りして利用できる場所を考えていかなければいかんのじゃないかと思います。現在のところそこまで行っておりませんので、奈良市の社会福祉協議会を充実して、そういう面のことを特に早く考えていきたいと思っております。

それから、この奈良市の地盤をもう少し上げなければ…という点、それはとくに観光面においても確かにいえることで、先ほどご指摘のあったかがですか。

小林さん　私宅は墨づくりを始めてから、私でちょうど三代目でございます。そんなことで、奈良にはみなさま方ご存じのように筆とか墨、うちわ、一刀彫、それから古面といったもの、赤膚焼、それから蚊帳もあって、そういうような伝統産業が比較的多うございます。

今までずっと伝統産業的に考えてみて、これらは決して一人のすぐれた人が生みだしたものではないと思いますし、時の権力者がつくったものでもないと思います。

それは、長い長い歴史の時間の中でつくる人とか見る人、また使う人、そういうお互いに切磋琢磨（せっさたくま）して築き上げてきたんじゃないかと思います。同時にそれに携わる人の心の豊かさを育ててきたとも思いますね。

もちろん、現在では新しい科学的な近代的な製品もできております。これなんかもやはりおろそかにはできないと思います。古い伝統的なもの、新しいもの、京都なら京都らしい味のある製品、奈良は奈良の本当の味のある製品、こういうものを大切に考えていかなけりゃならないと思います。

近ごろは機械化文明の進展によって、これに頼り過ぎる気持ちもあるようですが、これは困ると思いますし、古典的な良さ、これはもう本当に私たち奈良に住んでおります者の気持ちとして、伝統産業や工芸品が人間生活に必要だと思います。

深刻な問題としては、保存と後継者の問題だと思いますね。これは、本当にみんな頭を痛めているんじゃないかと思います。だからこういう点で、市長さんに行政面でちょっとお力をお借りし、ご指導いただければと思います。

司会　市長、いま皆さんがおっしゃったように商業、産業の振興・活性化をはかることによって、中核都市にふさわしい都市に高めていってほしいということなんですが。

市長　いろいろと拝聴いたしました。

（敬称略）

）西新在家町12、奈良市

F会議所理事長▷司会＝

’83年にかける奈良

出席のみなさん　（座席手前左から右回り、氏名横の数字は年齢、な

岡崎英子（52）大宮町四丁目、奈良市ボランティア連絡協議会長▷**小林新太郎**（54）子ども会育成連絡協議会長▷**木山　弘**市長▷**北野利裕**（37）西大寺町255、奈良青年**三上治二**奈良テレビアナウンサー

子供会十年の反省に立って

司会　今日ご出席の方々は、市民のみなさん方のために実際に活動をされている方ばかりなんですが、小林さん、子ども会として夢とか希望がおありでしょうし、そのあたりご披露いただけますか。

小林さん　昨年、奈良市子ども会育成連絡協議会結成十周年の記念式典を盛大に挙行することができました。指導者、それからみなさま方のいろんなご協力による結果であると喜んだ次第です。

それについても加盟されている団体が二百三十六団体で、会員数は一万五千人を超えております。そういうことですので、奈良市全体でみましても一番大きな団体に成長しておるのではないかと思います。

子ども会の諸活動についても、安全会の勧誘とか、それは全国的な安全会がございまして、昭和五十年から加入させていただいております。

現在では、本当に子どもに対する健全育成の期待というものが、お母さん方や指導者の方々に非常に関心が高まってきております。

司会　そうですね。非行とかの問題も多いですしね。

小林さん　子どもたちをはぐくむ夢と希望、苦しみや喜び、それから連帯意識とか協調とか、そういうような事について、非常にみなさん方、力を入れてご努力いただいておるわけでございます。

その中から自主的な気持ち、また子どもたちの創造性というものを伸ばしてやりたいと考えるわけで、過去十年間の実践の反省に立ってさらに努力してわれわれも大きく今年は飛躍したいと思うのでございます。

JCの国際的レベルアップ

司会　北野さんは、この正月からJC（青年会議所）の理事長さんでいらっしゃいますね。そのリーダーシップを発揮していただくための年頭の抱負を。

北野さん　青年会議所内で行う事は「所信」にいつも発表しているんですが、対外的に行っていますのは、今年の日本青年会議所の会頭の所信にもございますけれども、地域をになう若者の育成という事もございまして、毎年継続事業でやっているジュニア・アクト・スクールというのがございます。これは過去六年やってまいり、昨年やっと実を結びました。われわれの世界組織であるJCI（国際青年会議所）というのが昨年ソウルで世界大会を開いたのですが、この時にユース・アクティブ部門（青少年活動）でわれわれがビルブラウンフィールド賞という世界一の賞をいただいたわけなんです。

これを機にもう一段高めたジュニア・アクト・スクールというものにもっていきたいと思っております。それにはいつもお世話になっているボランティアの方々にさらに協力していただかねばならないと思っております。

それからもう一つ、わかくさ国体のあと行われる身障者スポーツ大会の後夜祭というのを青年会議所の方でやってくれないかという話がありましたので、これもやりたいと思っておるんですけれど、まあいろんな方にいろいろ助けていただかないとうまく運ばないと思いますので、横の連絡をとり合ってより地域の豊かな住みやすい社会に築き上げていきたいと思っております。

ボランティア仲間の増加を

司会　岡崎さん、いかがですか。

岡崎さん　近ごろ私たちボランティアの仲間がだんだん増えてきて本当に喜んでいます。もっともっと今年は増やしていかなければと思っております。

といいますのは、わかくさ国体のあとで、障害者のスポーツ大会がありますので、それを成功させるためには、五十八年の準備が本当に大切だろうとみんなで話し合っております。障害者のスポーツ大会といいますのは、競技をなっていうだけでなく、触れ合いの広場っていうんですか、一般市民の方と障害をもったみなさんとが交流をもって、お互いを理解し合うというような、そういう触れ合いの広場を各県でも重きに置いておられるようですので、そちらの方にううようなことをしようと思いましても、その会議場とか、宿泊するところがないというような状態ですので、ぜひとも国鉄奈良駅西側の再開発にあたって国際会議場とか、国際ホテルといったものを早急に実現していただきたいと思っております。

司会　岡崎さん、いかがですか。

岡崎英子さん　私たちみんなの願いなんですけど、いろんな活動をしていらっしゃる多くのグループの方たちが、横の連絡をとるために連絡協議会というものをつくったんですけれど、みんなが集まる拠点となる場所が今のところございません。社会福祉協議会の世話でいろいろやっているんですけど、そういう場所、何かボランティア活動をしたいなと思ったときにパッと行けるような、小さな部屋でもいいんですけど、そんなのがほしいなあといつも話し合っているんです。

行く行くは、これは夢かも知れませんが、ボランティアセンターというものができて、そこに本当に社会福祉を理解された人がいらっしゃって、相談に乗ってくださったり、需要と供給のバランスをとってくださって、みんなが気軽に出入りできるような、

奈良にふさわしい経済活動を振興

伝統産業の活性化も

司会　文化のまち、国際文化観光都市でもある奈良なんですけれど、実際に生活する私たちにとって、やはり生活の場ということなんですが、岡崎さん、女性として奈良のまちというのはいかがですか。

岡崎さん　私たちは毎日、若草山とか大仏殿なんかを仰ぎながら、古い歴史や文化財を身近にして毎日生活できるというのは本当に誇りに思い感謝しています。

ですからこれをやっぱり後世に伝え残す責任があると思います。

それから、奈良はやはり日本人の心のふる里ですし、国際文化観光都市としての役割りも果たさなければなりませんので、私たち市民はそれへの自覚と誇りというのを持ちたいと思っています。

また多くの人がこの古い歴史のまちを訪ねてくださって、ちょっと一服したいなあと思われたときに、本当に奈良らしい、なにか心安まるようなそんなお店なり場所が増えていったらいいなあと思います。

司会　北野さん、私ら若い者は奈良のまちはもっと活性化してほしいと思いますね。

北野さん　私たち青年会議所仲間のあいだで、よく「千分の一拡大」ということを言います。これは、青年会議所のメンバーがその都市の人口の千分の一あれば、地域に密着した会議所活動の実が挙げられるということをいっているんです。私たちのメンバーはいま百四十人ばかりですが、奈良市の人口が三十万を越しているので、その割合からいえば三百人はほしいところです。「千分の一拡大」からいえば、その目標の半分足らずということになります。それはなぜかと常日ごろ考えているんですが、これはやはり、奈良がベッドタウン化してるということで、三十万都市でありながら、実際に昼間奈良にいてる人は果たして何人だろうかということにつながってくるわけで、奈良が大阪・京都に余りにも近すぎて昼間人口が流れてしまうわけです。

ベッドタウン化といわれますけれども、そこに住んでいる人口、とくに昼間人口の定着化ということをはかっていただいて、少しでも多くの奈良市民が、昼間もその奈良市で生活できるというような企業とか職場を与えていただきたいと思うのです。

岡崎さんがおっしゃいましたように、ショッピングにしても、われわれは何かあったら大阪へ買い物に行ってますが、これが奈良に定着することによって、奈良のものを買い、奈良に金が落ちることによって、奈良はもっと大きく活性化するんじゃないかと思っているんですけど――。

そうだからといって、奈良になにがなんでも色んな企業を誘致してくるというんじゃなくて、やはり奈良は、今おっしゃいましたように、伝統的なまちでありますし、いろんな文化財がございますから、古くから奈良のまちにあった企業といいますか、公害企業じゃなしに、イメージ的にも奈良のまちに合ったものを振興し、また誘致していただきたいと思っております。

司会　伝統工芸を守っていらっしゃいます小林さん、いきまして今年で二十四年目になるんですけど、三十年目に当たる年には、この大きな節のためにも全国大会を奈良に誘致したいと思っています。そういうようなことをしようと思いましても、その会議場とか、宿泊するところがないというような状態ですので、ぜひとも国鉄奈良駅西側の再開発にあたって国際会議場とか、国際ホテルといったものを早急に実現していただきたいと思っております。

司会　岡崎さん、いかがですか。

岡崎英子さん　私たちみんなの願いなんですけど、いろんな活動をしていらっしゃる多くのグループの方たちが、横の連絡をとるために連絡協議会というものをつくったんですけれど、みんなが集まる拠点となる場所が今のところございません。社会福祉協議会の世話でいろいろやっているんですけど、そういう場所、何かボランティア活動をしたいなと思ったときにパッと行けるような、小さな部屋でもいいんですけど、そんなのがほしいなあといつも話し合っているんです。

行く行くは、これは夢かも知れませんが、ボランティアセンターというものができて、そこに本当に社会福祉を理解された人がいらっしゃって、相談に乗ってくださったり、需要と供給のバランスをとってくださって、みんなが気軽に出入りできるような、

国際的な会議場・ホテル誘致を

ボランティアの拠点施設も考える

司会　北野さん、奈良らしいまちづくりという事なんですが……。

北野利裕さん　先ほど市長さんから国鉄奈良駅西側の再開発という話がございましたけれども、やはり奈良らしいまちづくりということになると、国際的なホテル、都市型のそういうホテルがほしいと私たちは思っております。そのために、国鉄奈良駅西側の再開発というところで国際的なホテルを建てていただきたいと思っておるんですけど――。

また、奈良青年会議所がで

国際ホテルの問題もそうです。これは相当レベルの高いものを私は欲しいんですが、一方余りレベルが高すぎて、京都宝ケ池の国際会議場式のものではかえって利用効率がどうか……、もう少しやっぱり一般的で、多少程度の高いものもこなせるというようなもの、そして奈良にふさわしいもので、規模も相当大きなものをと思っています。場所は国鉄奈良駅の西とは限定しておりません。

それから私は、平城宮跡近辺の朱雀大路のあたりを奈良のシンボルゾーンのようなものにしたいと思っています。したがって、そういうところに奈良市らしい施設を持ってくるということが必要じゃなかろうかと考えております。

しかし、これは今すぐにどこをどうしてということじゃなしに、今年中にちゃんと考えて目鼻をつけたいということなんです。

しました

奈良というのは日本にかけがえのないまちです。奈良市全部が博物館だと言われるようなまちなんです。そういうまちのことですから、われわれは本当にこのまちを大切にせにゃいかんし、やっぱり後世に伝え継いでいかなけりゃいかん。そういうプライドも持たなければいかん。

ただね、産業とか商業面に入ってまいりますと、少しく〝大仏商法〟的なところがあります。本当にひとつ奈良らしい趣いのある、何か清深で落ち着いた、ちょっとお茶でも……というような場所がね、もう少しあってもいいんじゃないかと思います。

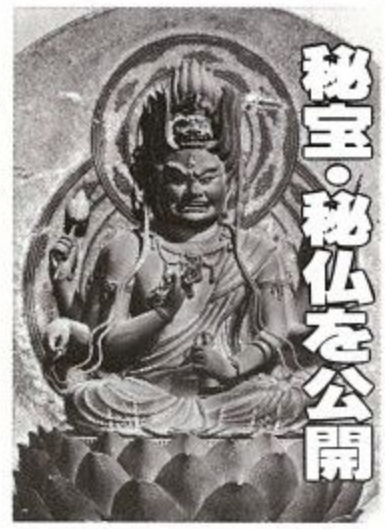
それから、こういうまちですけれども、やはり活性化ということを、市民が住む以上は忘れてはいかんので、ご指摘のように、やっぱりこの奈良に合った企業というものがなければいかん。ただ、大阪・京都との関係においては、経済というのは非常にむずかしいもんでね、どうしても経済性のあるところにしかるべきものが落着いていく、そういう原則のなかで現在やっているわけです。

しかし、奈良に活性化を求めるとすれば、観光産業的なもの、それと関連をするようなもの、そして奈良に公害を与えないようなもの、そういうものについてはどんどん活性化するために、誘致というと語弊があるけれども、そういう企業を奈良でやっていただく余地がまだ十分あるんじゃないか、そういう面で私たちも、奈良の活性化ということを今日大きな行政の目標として設定しておりますし、今年そういう意味で十分考えていきたいと思います。

また伝統産業につきましても、やっぱり奈良に昔から長い苦労の末に育った産業ですから、後継者の育成も十分考えていきたいと考えております。

司会　みなさん方にいろいろと夢や希望を語っていただきましたが、これらがかなえられるようなまちにこれからもみなさん方もともに努力していただきたいと思います。

秘宝・秘仏を公開



愛染明王（重要文化財＝西大寺）

平素見られないものをこの機会にどうぞ

奈良大和路キャンペーン

市と市観光協会が関係機関・団体・社寺などの協力で、新春早々繰り広げる奈良大和路キャンペーン「歴史の素顔に出逢いたい」は全国に向けて奈良の良さを再認識してもらい、奈良の持つ千二百年の歴史の証人に直接出逢ってもらおうという運動で、「成人の日」の十五日から始まり、三月二十日まで六十五日間にわたる長期のページェントになります。

このキャンペーンの中で最大の呼びものとなるのは、市内の社寺がそれぞれの秘仏・秘宝を思い切って公開するというもので、つぎの日程が組まれ、この日は滅多にお目にかかれない文字通りの秘仏・秘宝が公開されます。

◎春日大社・春日名宝展　一月十五日～三月二十日（午前十時～午後四時）拝観料大人二百円。

◎薬師寺・西塔内部開扉　一月十五日～三月二十日（午前十時～午後三時）拝観料大人二百円。

◎西大寺・愛染明王開扉　一月十五日～同二十四日（午前十時～午後三時）拝観料大人五百円。

◎東大寺・戒壇院開扉　一月二十五日～二月四日（午前十時～午後三時）拝観料大人二百円。

◎唐招提寺・新宝蔵開扉　二月五日～同十一日（午前十時～午後三時）拝観料大人三百円。

◎大安寺・馬頭観音開扉　二月十一日～同二十三日（午前十時～午後三時）拝観料大人四百円。

◎興福寺・東金堂開扉　二月二十四日～三月二日（午前十時～午後三時）拝観料大人二百円。

◎元興寺・智光曼荼羅図開扉　三月一日～同二十日（午前十時～午後三時）拝観料大人二百円。

◎法華寺・光月亭と東書院公開　三月三日～同二十日（午前十時～午後三時）拝観料大人三百五十円。

このほか、キャンペーン期間中は毎日午前九時半から、飛火野で「鹿寄せ」が行われます。

新型観光案内板

国鉄・近鉄両奈良駅前に新設

近鉄奈良駅前に掲げられた新型案内板

市ではこのほど、奈良への観光客の玄関口となっている近鉄奈良駅前の行基噴水広場と国鉄奈良駅前広場に、それぞれ大きな「奈良の行事案内板」を設けました。

これはその月々におこなわれる奈良の年中行事が一目でわかる新しい型の案内板で、約二・五㍍四方、上下二段にわかれていて、二枚のプラスチックパネルにその月の前半と後半に行われる年中行事が楽しいイラストを添えてカラフルに書きわけられています。ここに紹介される年中行事は、全国的に有名なものはもちろん、奈良市民でもちょっと気が付かないような〝みもの〟まで入れて約百件。遠来の観光客ばかりでなく、市民にとっても奈良探訪への貴重な手引きとなるものです。

一円玉集めて22万4千余円

平城地区万青連が善意銀行へ！

ご老人たちの一円玉貯金がこんなにたまった

市平城地区万年青年クラブ連合会（大森嘉治会長、会員六百八十四人）では、会員の家庭で昨年一年間ためた〝一円玉募金〟を昨年十二月十日に持ち寄り、総額二十二万四千百六十二円を市社会福祉協議会の善意銀行へ寄付しました。

この一円玉募金は貨幣価値の低下でとかく顧みられなくなった一円玉を一年間集め、恵まれない人のために役立てようと去る四十四年から続けているもので今年で十四回目。この日集められた一円玉の山には、十円玉や百円玉、千円札もまじっており、大きなジュラルミン箱三つにぎっしり、銀行から出向いた係員が汗だくで計算していました。

市展「なら」

今春3月開催

応募などの問い合わせは市企画課（☎㊹1111）へ

花の市

悪命に日本語勉強し日中友好に尽す

日本語作文入選者来寧

NHKが同協会の中国向けラジオ放送「やさしい日本語」聴取者から募集した日本語作文の入選者三人が日本に招待され、昨年十二月十三日奈良見学の途中奈良市役所を訪問しました。

一行中の紅一点は、奈良市の友好都市西安市の外国語学院で学ぶ黄麗華さん、市役所「西安の間」で木山市長としっかり握手した黄さんは「奈良の街並みは西安のと似ていて親しみを感じました。これからも日本語を懸命に勉強して、日中友好増進に尽くしたい」と日本語学習にかける熱意を語っていました。

NHKの「やさしい日本語」は中国で好評で、同国内で百万を超す人が聴取しており、今回の日本語作文コンテストにも千人の応募があったといいます。

とき　一月十六日(日)午前八時

ところ　近鉄奈良駅前行基噴水広場

近鉄学園前駅東側

西部公民館南側

お米が食べたくなる記事

お米は健康的な食生活の演出家

社会経済の伸展を背景とした食生活の多様化により、近年お米の消費量は年々減少しています。しかし、現在でもお米は私たち日本人を支える主食の王座にあり、国内で十分に賄うことができる大切なカロリー源であるとともに優れたタンパク源として日本人にとっては貴重な食糧です。

しかし、お米は余りにも私たちの生活に密着しているため、お米について考えることが少ないのが現状です。

お米を中心とした日本人の食生活は、栄養の面から見ると、平均的にはバランスのとれた望ましい姿であると言われます。しかし、個人個人の食生活を見ると、栄養の偏った食べ方をしている人も多く、とくに最近では欧米型の〝栄養過剰タイプ〟が目立っています。この傾向が続くと、将来心臓病や動脈硬化などのいわゆる成人病にかかる人が増えていくと想像されます。

お米を中心とする栄養バランスのとれた日本型食生活を維持するためには、子どものころの食生活が重要なポイントとなります。とくに幼児期は食生活の基礎ができる大切な時期です。このころの食べ物の好き嫌いや主食のあり方は習慣化して大人になっても続くと言われています。

そこでクローズアップされるのがお母さんの役割りです。お母さん、子どもが健康的な食生活を送るために頭と手を使ってください。

幼児に「お米を中心とした食生活を……」と言っても、幼児はお母さんが作ってくれた料理を食べるのが〝仕事〟です。そこで、お母さんにお米に対する理解を深めてもらうことが大切です。お米の良さを考えてみましょう。

▽お米は良質なタンパク源

タンパク質の人体内での利用効率を示すプロティンスコア（数値が高いほど質がよく、体内で効果的に利用される）で見ますと、理想タンパク源と言われるタマゴを一〇〇とすると、お米は七七で、牛肉の八〇、牛乳の七四とほぼ同じになっており、小麦粉、大豆の五五より高くなっています。また単価的に見ても他のタンパク質と比べて経済的です。

▽理想的なお米中心の食生活

なぜお米を中心とした食生活が栄養のバランスを取りやすいのでしょうか。その理由として次のような点があげられます。

①ごはんそのもののカロリーが低いので、ほかの食品との組み合わせがいろいろできます。つまり、バラエティーに富んだおかずがそろえられるのです。

②ごはんは和食、洋食、中華など、どんなおかずとも合います。

③ごはんは満腹感が強いのでカロリーの取り過ぎを防げます。

これを裏付けるのがPFCカロリー比です。Pはタンパク質、Fは脂肪、Cは炭水化物を表し、これら三大栄養素からどのような割合で熱量を取っているかを示したのがPFCカロリー比です。

ところで、理想型と現在の日本、アメリカの食生活のカロリー比は次のようになっています。

	P（タンパク質）	F（脂肪）	C（炭水化物）
理想型	12 ～ 13	20 ～ 30	57 ～ 68
日　本	12.9	25.1	62.0
アメリカ	12.5	44.1	43.4

声

ご意見要望をどうぞ

市政に対して平素お考えのこと、ご意見や要望をお寄せください。できるだけ四百字までにおねがいします。

紙面での匿名はかまいませんが、原稿には住所、氏名、電話番号を書いておいてください。送っていただいた原稿が匿名のときは掲載できません。

あて先は二条大路南一丁目、奈良市役所広報公聴課「声」係です。

お米の迷信

〈お米を食べると太る〉

これは誤解。太るのは必要以上にカロリーをとるからです。肥満が今や社会問題となっている欧米では、やせるためにお米を食べている人がいます。お米は低カロリーで満腹感を味わえるからです。お米を主食にすると、カロリーの調整がしやすいのです。

〈お米を食べると高血圧になる〉

東北や北陸などの米どころに高血圧の人が多かったため、こんな誤解が生まれたようです。これらの地方では、気候風土の関係で他の地方に比べ塩分をとりすぎる傾向にあったため、高血圧の人が多かったのです。その後の減塩運動により高血圧の人が減っているのが何よりの証拠といえます。

〈お米を食べると頭が悪くなる〉

かつて「お米を食べると頭が悪くなる」という説が流れたことがありますが、この説はまったく根拠がないもので、すぐに打ち消されました。「頭を悪くする」というのは、栄養の不足や偏りに問題があるとわかったからです。頭のためには、ごはんを中心にしたバランスのとれた食事をとることが必要です。

い食べ方〟として注目しています。しかし、安心はしていられません。日本人の個人個人の食生活を見ると、とくに若い人の間で脂肪分を多く取る〝欧米型〟の食事を好む傾向が強くなっているように見受けられます。こうした傾向が続けば、今後欧米のように栄養の偏りからくる心臓病や動脈硬化などの成人病にかかる人が増えるのではないかと心配されます。

お母さん、健康的な食生活を演出するお米の役割を認識し、わが家の食生活を見直してみてください。

住民検診 ⑤

結核の早期発見、早期治療と肺ガンの予防をめざして市の結核住民検診が来年2月まで行われています。みなさんの家の近くまでレントゲン車が巡回しますので、この機会にぜひ受診してください。レントゲン撮影はボタンや金具のない下着なら着たままで受けられます。ただし、15歳以上の人（中学生、高校生、勤務者、妊婦は除く）に限ります。料金は無料です。（検診はこれで終了）

地区	月日	時間	実施場所
平城ニュータウン	1.10（月）	9：40～10：20	神功一丁目平城第一団地11号館東側
		10：30～11：10	神功一丁目平城第一団地16号館前
		1：00～1：40	神功二丁目児童公園前
		1：50～2：30	神功三丁目児童公園前
		2：40～3：20	平城西公民館
	1.11（火）	9：40～10：20	平城朱雀第一住宅管理事務所前
		10：30～11：10	総合食品イナダストアー前
		1：00～1：40	右京一丁目近商ストアー前
		1：50～2：30	右京二丁目平城第二団地41号館西側
		2：40～3：20	右京三丁目平城三号近隣公園西南角
		3：30～4：10	右京小学校校門前
富雄	1.12（水）	9：30～10：00	中町東坂公民館前
		10：10～10：30	青垣台一丁目児童公園前
		10：40～11：00	青垣台二丁目児童公園前
		11：10～11：30	石木町公民館前
		1：40～2：00	大和田町公民館前
		2：10～2：30	中町奈良市農協富雄支所
		2：40～3：10	富雄泉ケ丘ＡＢＣ公園前
	1.13（木）	9：30～10：00	千代ケ丘一丁目田賀外男氏宅前
		10：10～10：30	千代ケ丘一丁目滝野医院前
		10：40～11：10	千代ケ丘二丁目大倭滝の峰荘前
		11：20～11：40	千代ケ丘三丁目前枝氏宅前
		1：40～2：10	藤ノ木台三丁目中央公園北側
		2：20～2：50	藤ノ木台三丁目ロケット公園南側
		3：00～3：30	藤ノ木台四丁目伊熊歯科前
		3：40～4：10	菅野台俵元三郎氏宅前
	1.14（金）	9：40～10：00	帝塚山南一丁目児童公園
		10：10～10：40	帝塚山南四丁目バス停前
		10：50～11：10	帝塚山南二丁目池田歯科前
		11：20～11：40	帝塚山一丁目カラー公園北側
		1：20～1：50	帝塚山三丁目総合集会所前
		2：00～2：30	帝塚山二丁目高本俊次氏宅前
		2：40～3：10	帝塚山四丁目児童公園東側
		3：20～3：40	帝塚山六丁目倉見鉀一氏宅前
	1.17（月）	9：40～10：10	帝塚山六丁目帝塚山ガーデンハイツ1号前
		10：20～10：40	三碓町三碓バス停前
		10：50～11：10	富雄中学校校門前
		11：20～11：40	富雄元町一丁目富雄ハイツ前
		1：40～2：10	鳥見町一丁目高井医院前
		2：20～2：50	鳥見町二丁目ルーテル保育園前
		3：00～3：30	富雄公民館前
		3：40～4：10	鳥見町一丁目公園北側
	1.18（火）	9：40～10：10	鳥見町三丁目電々公社社宅3号前
		10：20～10：50	鳥見町三丁目近商ストアー前
		11：00～11：30	鳥見小学校
		1：10～1：50	鳥見町四丁目富雄団地34号館西側
		2：00～2：40	鳥見町四丁目富雄団地管理事務所
		2：50～3：20	鳥見町四丁目富雄団地15号館西側
		3：30～4：00	鳥見町四丁目富雄団地5号館北側
	1.19（水）	9：40～10：10	富雄三松ケ丘団地第一児童公園北側
		10：20～10：40	富雄北一丁目西田燃料店前
		10：50～11：10	富雄北二丁目西条タバコ店前
		11：20～11：40	富雄北三丁目松ケ丘住宅公園前
		1：40～2：10	富雄北三丁目中里マンション前
		2：20～3：00	二名町谷奥田中精米所前
		3：10～3：40	二名城ケ丘団地津田俊治氏宅前
		3：50～4：10	二名町平野公民館前
学園	1・20（木）	9：30～10：00	学園大和町三丁目第3号児童公園北側
		10：10～10：30	学園大和町三丁目鈴木正彦氏宅前
		10：40～11：00	学園大和町四丁目野村康三氏宅前
		11：10～11：30	学園大和町四丁目第4号児童公園東側
		1：40～2：10	学園大和町五丁目合同宿舎集会所前
		2：20～2：50	学園大和町五丁目高場氏宅前
		3：00～3：20	学園大和町一丁目第8号児童公園南側
		3：30～4：00	学園大和町一丁目西部公民館大和分館
	1・21（金）	9：30～9：50	学園大和町二丁目狩山歯科前
		10：00～10：30	学園南三丁目山中義雄氏宅前
		10：40～11：10	学園朝日町学園前団地集会所
		11：20～11：40	学園北二丁目池田作次郎氏宅前
		1：50～2：20	学園南一丁目阪奈電化サービス前
		2：30～2：50	学園南一丁目奥田利一郎氏宅前
		3：00～3：30	学園南二丁目光瀬寺前
		3：40～4：00	学園南二丁目新谷勝利氏宅前
	1・24（月）	9：40～10：00	学園朝日町公民館前
		10：10～10：40	学園朝日町船井電機社宅前
		10：50～11：20	鶴舞団地34号館東側
		1：30～2：00	鶴舞西町集会所前
		2：10～2：50	鶴舞団地72号館東側
		3：00～3：40	鶴舞団地60号館東側
		3：50～4：20	鶴舞団地23号館南側
	1・25（火）	9：40～10：10	百楽園一丁目女子大付属小学校前
		10：20～10：40	百楽園一丁目中村弘治氏宅前
		10：50～11：10	百楽園二丁目有井氏宅前
		11：20～11：40	百楽園二丁目幽ヤブセ前
		1：30～2：00	百楽園三丁目山口博氏宅前
		2：10～2：40	百楽園四丁目吉川タバコ店前
		2：50～3：20	学園緑ケ丘一丁目公園東側
		3：30～4：00	学園緑ケ丘三丁目児童公園北側
	1・26（水）	9：40～10：10	中山西二丁目サンハイツD号西側
		10：20～10：50	中山西三丁目第1号児童公園北側
		11：00～11：30	中山西四丁目児童公園南側
		1：20～1：50	西奈良県民センター前
		2：00～2：30	学園松ケ丘サンケイ新聞専売所前
		2：40～3：10	南登美ケ丘河田治氏宅前
		3：20～3：50	登美ケ丘四丁目ロジングハウス前
	1・28（金）	9：40～10：10	東登美ケ丘二丁目竹田歯科前
		10：20～10：50	東登美ケ丘一丁目西門信一氏宅前
		11：00～11：30	登美ケ丘五丁目岩橋登氏宅前
		1：30～1：50	登美ケ丘六丁目中川歳勝氏宅前
		2：00～2：30	登美ケ丘三丁目森田診療所前
		2：40～3：10	西登美ケ丘一丁目永井康雄氏宅前
		3：20～3：50	西登美ケ丘一丁目大藪章三氏宅前
	1・31（月）	9：40～10：10	中登美ケ丘二丁目杉原茂雄氏宅前
		10：20～10：50	中登美団地D44号館西側
		11：00～11：30	中登美団地D25号館前
		1：20～1：50	中登美団地E26号館前
		2：00～2：30	中登美団地E15号館東側
		2：40～3：10	中登美団地E3号館南側
		3：20～3：50	中登美団地C15号館南側
	2・1（火）	9：40～10：10	中登美ケ丘一丁目中登美第1集会所
		10：20～10：50	中登美団地F5号館東側
		11：00～11：30	西登美ケ丘二丁目藤村晃氏宅前
		1：20～1：50	西登美ケ丘一丁目中村医院前
		2：00～2：30	西登美ケ丘三丁目北側公園
		2：40～3：10	西登美ケ丘四丁目井戸木武士氏宅前
		3：20～3：50	西登美ケ丘四丁目児童公園前
	2・2（水）	9：40～10：20	西登美ケ丘五丁目西登美公民館西側
		10：30～11：00	西登美ケ丘八丁目西公園南側
		11：10～11：30	西登美ケ丘八丁目成田氏宅前
		1：40～2：10	西登美ケ丘七丁目南三輪益江氏宅前
		2：20～2：50	西登美ケ丘七丁目南公園北側
		3：00～3：30	西登美ケ丘六丁目カンバシロ公園北側
椿井	2・3（木）	9：30～10：10	本子守町率川神社前
		10：20～11：00	中央公民館前

論文募集

テーマ「障害者雇用の促進と安定をはかるには」

身体障害者雇用促進協会では、身体障害者と精神薄弱者の雇用の促進と職業生活の向上に関して、「障害者雇用の促進と安定をはかるには」とのテーマでつぎのように論文を募集しています。

【部門】　第一部＝「わが社の障害者雇用」を主題に、障害者雇用に経験をもつ事業主、職場の指導者・同僚等、障害者雇用の促進と安定を進める立場からの論文▽第二部＝「職場生活の向上をめざして」を主題に、障害者自らがその経験を通して職場生活の向上はじめ障害者の雇用促進と安定を進めるための論文▽第三部＝「障害者の雇用を進めるには」を主題に、主に障害者と接する関係者（行政、学校、施設、家族、学生、ボランティア等）が、その交流経験を通して感じた障害者の雇用促進と安定を進めるための論文。

【応募方法】　四百字詰原稿用紙（B4判）縦書き五～十枚程度。原稿用紙の第一ページに住所、氏名、年齢、職業（具体的に）、郵便番号、電話番号と応募部門を明記して、三月三十一日（消印有効）までに〒105東京都港区虎ノ門一丁目九番二号東相ビル内、身体障害者雇用促進協会「論文募集係」へ送ってください。

【応募資格など】　国内在住の個人で、日本語（点字でも可）で書いた未発表の作品に限ります。原稿は返却されません。入賞作品の版権は同協会に帰属します。

【その他】　優秀作品には労働大臣賞、身体障害者雇用促進協会々長賞ほかの賞が贈られます。くわしいことは奈良県心身障害者雇用促進協会（登大路町三八―一、☎㉔五一五一）へお問い合わせください。

一歳六カ月児健康診査

妊産婦歯科健診も

診査の場所は市保健センター（二条大路南一丁目、☎㉔一一一一）と西部公民館（学園北二丁目）。対象児は昭和五十六年五月生まれ。身長・体重の測定、診察、歯科健診、問診、保健指導があります。

該当児には問診票を送りますが、十一月一日以降の転入者やその他の事情で届かない人は直接会場へ来てください。時間はいずれも午後一時半～二時半。母子手帳をお忘れなく。

また妊産婦歯科健診もこの日程にあわせて同時に行います。

＝市保健センターで＝

ツ反応検査 BCG接種

市保健センターでは結核予防のためのツベルクリン反応検査とBCG接種をつぎの日程で各校区の子どもに行います。（カッコ内はツ反応判定とBCG接種日）＝他校区は順次実施

1月19日（21日）飛鳥・済美・済美南各校区

1月26日（28日）椿井・鼓阪・佐保・東市各校区

対象は生後六カ月以上四十八カ月までの子で、未検査児と前回疑陽性で三カ月経過の子はぜひ受けさせてください。各日午後二時～三時に直接市保健センター（二条大路南一丁目）へお越しください。母子手帳をお忘れなく。問い合わせは衛生課（☎㉔一一一一）へ。

【受けられない子】①種痘、ポリオ服用、麻しん・風しん・おたふくかぜの予防接種を受けて四週間、その他の予防接種を受けて二週間以上たっていない子②一年以内にひきつけ（けいれん）を起こした子③麻しん、風しん、おたふくかぜ、みずぼうそう、リンゴ病、手足口病などの病気が治ってから四週間以上たっていない子④突発性発しん、とび火が治ってから二週間以上たっていない子。

1月13日（木）鼓阪・飛鳥・済美・済美南・椿井・佐保・大宮・柳生・大柳生・相和各校区

1月20日（木）都跡・六条・大安寺・平城・伏見・帯解各校区

2月3日（木）辰市・東市・明治・精華・あやめ池・右京・田原・西大寺北・大安寺西・神功・朱雀各校区

＝西部公民館で＝

1月27日（木）鳥見・富雄北・富雄南・鶴舞・青和・二名・登美ケ丘・東登美ケ丘・富雄第三・平城西・三碓各校区

「住宅取得控除」の説明会

昭和五十七年中に新築住宅か中古住宅を取得した人で、一定の条件を満たせば、昭和五十七年分所得税の確定申告で住宅取得控除を受けられます。奈良税務署ではこの住宅取得控除の説明会をつぎのように開きます。くわしいことは同税務署（☎㉔一二〇一）へお問い合わせください。

1月21日（金）＝午前十時からと午後一時半からの二回、市役所北部出張所で。

1月22日（土）＝午前十時から市西部公民館で。

善意ありがとう

善意銀行

十月二十九日　山陵町の匿名氏から五千円▽行基噴水喜捨分一万一千三百七十円。

十一月二日　都南中学校生徒一同から文化祭のチャリティー収益金一万三千五百七十九円を身障者福祉に。▽大阪市東成区の猪尾匡志さんから社会福祉事業に千円。▽奈良警察署警務課から千円

同四日　西大寺本町の井村菓子店から「みどりの家」へ菓子三十一袋。▽杏南町の中谷憲一さんから至徳会へふとん十五組。▽東和苑の関嘉幸さんから東大寺整肢園へ洗濯機一台。

同五日　登美ケ丘四丁目の藤山カヨさんから愛の定期便三千円。▽登美ケ丘六丁目の北村操さんから愛の定期便三千円。

同六日　二条大路南三丁目の西松正直さんから九千百二十四円。▽右京三丁目の三輪実さんから身障者福祉に一万円。

同八日　三碓町の大谷勝康さんから身障者福祉に二十万円。

同十一日　あやめ池地区民生児童委員協議会から善意の小箱義金一万四千百六十八円。

同十五日　椿井地区民生児童委員協議会から善意の小箱義金五千円。

同十六日　西登美ケ丘六丁目の矢野恵さんほか三人から「手をつなぐ親の会」と「肢体不自由児父母の会」へ一万五千円。

同十八日　大安寺西小学校三年荒谷修平君から一万円。

同十九日　黒髪奈保町の山岡好道さんから「老春の家」へあんま機一台。

同二十二日　登美ケ丘婦人会から「手をつなぐ親の会」作業所へ五万九百三十円。

同二十四日　米谷町の前田安信さんから老人福祉に五十万円。▽匿名氏から交通遺児へ千円。

同二十六日　椿井町の村上一夫さんから愛の定期便三千円。▽六条西町の奥村学さんから二千六百二十円。▽六条町の上田義治さんから和楽園へ白米一俵。▽鼓阪地区老友会婦人部から市内各施設へぞうきん千二百枚

同二十七日　南紀寺町四丁目の奈良ベタニア協会ぶどうの会から七千円。▽山陵町の匿名氏から五千円。

同二十九日　朝日町二丁目の中村日吉さんから亡父供養のため老人福祉に百万円。

同三十日　若草公民館自主グループ連絡会からチャリティーバザーの収益金の一部二十万円を福祉施設に。▽行基噴水喜捨分八千二百四十六円。

十二月一日　法連佐保町の佐藤華州さんから十万円。▽あやめ池北三丁目の森下きぬゑさんから亡夫十三回忌供養のため身障者福祉に二十万円。▽鼓阪小学校六年の大塚友子さん、川辺幸子さん、岡村有美子さん、矢尾美樹さんの四人から七千五百九十六円。

内職のある事業所はお知らせください

最近家庭で出来る内職を希望する市民（特に婦人）が増えています。

市では、これらの要望にこたえるため、家庭内職でできる加工などの仕事のある事業所を探しています。

このような内職のある事業所は市労政課（☎㉔一一一一）までご連絡ください。

＝労政課

新年子ども大会開く

23日、史跡文化センターで

市では「新年子ども大会」をつぎのように開きます。参加希望者は往復はがきに住所、氏名、学年、電話番号を書いて一月十日（消印有効）までに市社会教育課（二条大路南一丁目、☎㉞一一一一）へ申し込んでください。

とき＝一月二十三日（日）午後零時四十五分～三時▽ところ＝市史跡文化センター▽対象＝小学三～六年生八百人▽内容＝童話、歌、器楽演奏、人形劇など

中央公民館

（市内東寺林町三八　電話㉞六五二七番）

中国料理教室　一月十八日～三月二十九日の毎火曜日午前十時～午後一時半。十回で終了。婦人三十人。

家庭料理教室　一月二十日～三月二十四日の毎木曜日午前十時～午後一時半。十回で終了。婦人三十人。

☆受講希望者は往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて一月十日（必着）までに同館へ。一枚のはがきに一人一教室限り。定員超過の場合は抽選。受講料は無料（材料費負担）。

伏見公民館

（市内青野町一九一一　電話㉞九八六四番）

パンとお菓子づくり教室　一月十九日～三月二十三日の毎水曜日午前九時半～十一時半。十回で終了。婦人二十四人。

フランス刺しゅう教室　一月二十日～三月二十四日の毎木曜日の午後一～四時。十回で終了。婦人二十五人。

親と子のほのぼの体操教室　一月二十一日～三月二十五日の毎金曜日午前九時半～十一時。十回で終了。母子十五組（子は幼稚園入園前）。

☆受講希望者は往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢（ほのぼの体操教室は子どもも）、電話番号を書いて、一月十三日（必着）までに同館へ。一枚のはがきに一人一教室限り。定員超過の場合は抽選。材料費のみ自己負担。

ちびっこスケート教室

―市子連―

市子連（市子ども会育成連絡協議会）では、つぎのように「ちびっこスケート教室」を開きます。

とき＝一月二十三日、同三十日、二月十一日、同十三日のそれぞれ午前九時～同十一時▽ところ＝ドリームランドスケート場▽定員＝各回とも小学三年生～中学三年生百人▽持ち物＝手袋など▽参加費＝一回千円（当日受け付け）▽申し込み＝はがきに住所・氏名・学年・電話番号・クツのサイズ・参加日を書いて、市教育委員会市子連事務局（二条大路南一丁目、☎㉞一一一一）へ一月十五日までに。

市民体育大会スキー競技

25日までに申し込みを

第三十六回市民体育大会スキー競技の部がつぎのように開かれます。参加希望者は住所、氏名、性別、生年月日、電話番号、大会当日の満年齢、出場種目、所持級、所属クラブがあればクラブ名、過去の競技会での成績を明らかにして、一月二十五日までに電話かはがきで市体育課（二条大路南一丁目、☎㉞一一一一）へ申し込んでください。

クラス	種別	1部	2部
A	青年男子	高校生以上30歳未満	
	成年男子	30歳以上40歳未満	40歳以上50歳未満
	壮年男子	50歳以上	
	女子	高校生以上	
B	女子	（過去の当大会Aクラス出場者、県大会同程度以上のスキー競技会出場者、申し込み時に2級以上所持者は出場できません。）	
	男子		
C	ジュニア	中学3年生以下（保護者同伴）	

とき＝二月六日午前八時半▽ところ＝北神鍋スキー場（兵庫県城崎郡日高町）▽参加資格＝市内在住・在勤・在学者▽参加料＝傷害保険料五百円のみ。

なお、競技は回転競技だけで、上表のようにクラス分けをします。

市民マラソン

2月11日、市中央体育館前スタート

恒例の市民マラソン大会がつぎの要領で、二月十一日の「建国記念の日」に開かれます。今年十七回目。

コースは市中央体育館前から市の外環状線折り返しコースで、スタートは午前十時。

【種別】第一部10㌔、第二部5㌔、中学男子駅伝の部10㌔（五区）、中学女子の部3㌔。

【参加資格】第一部＝十六歳以上の男女、市外の人も可▽第二部＝市内在住・在勤・在学者で十六歳以上の男女▽中学男子駅伝と中学女子の部＝市内の中学生（学校長の承認が必要）。

【申し込み】一月二十二日（消印有効）までに往復はがきに参加種別、住所、氏名、年齢、所属（学校・クラブなど）、電話番号を書いて市体育課（二条大路南一丁目、☎㉞一一一一）へ申し込んでください。

【参加料】市内在住・在勤・在学者は二百円（保険料）、市外参加者は六百円（保険料含む）を当日受付で支払ってください。

なお、参加者は各自医師の診断を受け、マラソンに耐えられると認められた人に限ります。

市スキー教室

来月3～6日北神鍋で

第二十一回市スキー教室がつぎの日程で開かれます。正しい技術を身につけてもらうとともに、バッジテストもあります。

参加希望者は一月二十五日までに市体育課備え付けの申し込み用紙に会費を添えて同課（二条大路南一丁目、☎㉞一一一一）へ申し込んでください。

とき＝二月三日～六日▽ところ＝北神鍋スキー場（兵庫県城崎郡日高町）▽集合＝三日午後七時市役所▽定員＝八十人▽参加費＝二万円（貸しスキー・くつは別に一日千五百円）▽バッジテスト受験料＝一級二千円、二～三級千五百円、四～五級千円（他に登録料が必要）。

三種混合予防接種

三種混合（沈降精製百日ぜき・ジフテリア・破傷風）の予防接種はつぎの日程で第1期（3～8週間間隔で3回）と第2期（1回）を行います。第1期該当者には問診票を送ります。昭和57年12月15日以降の転入者やその他の事情で問診票の届かない人は市衛生課（二条大路南1丁目、☎34―1111）または近くの出張所・連絡所・隣保館へ問診票を取りにきてください。

【該当時】第1期＝昭和55年7月1日～同12月31日生まれの幼児と、昭和55年6月30日以前の生まれで第1期3回目完了予定日が生後48カ月までの未接種児。▷第2期＝生後24カ月から66カ月以内で第1期3回目完了後1年以上経過した子（通知しません）。

【受けられない子】生ワク・種痘・はしか・風しん・おたふくかぜの予防接種またはBCG接種後4週間、その他の予防接種を受けて2週間以上たっていない子。▷1年以内にけいれんを起こした子。▷はしか・おたふくかぜ・風しん・水ぼうそう・リンゴ病・手足口病が治ってから4週間たたない子。▷とびひが治ってから2週間たたない子。

【注意】接種当日は母子手帳・問診票をお忘れなく。▷接種前日は入浴させておいてください。▷会場への車の乗り入れはご遠慮ください。

第1期 1回目	第1期 2回目	第1期 3回目	時間	実施場所	対象校区
1.10（月）	1.31（月）	2.21（月）	2:00～3:00	市保健センター	済美・済美南・右京
1.11（火）	2.1（火）	2.22（火）	2:00～3:00	西部公民館	富雄北・富雄南
			2:00～3:00	市保健センター	大宮・辰市
1.12（水）	2.2（水）	2.23（水）	2:00～3:00	西部公民館	鳥見・富雄第三
1.13（木）	2.3（木）	2.24（木）	2:00～3:00	西奈良県民センター	登美ケ丘・東登美ケ丘
1.14（金）	2.4（金）	2.25（金）	2:00～3:00	市保健センター	六条・明治・朱雀
1.17（月）	2.7（月）	2.28（月）	2:00～3:00	市保健センター	飛鳥・神功・西大寺北
1.18（火）	2.8（火）	3.1（火）	2:00～3:00	西部公民館	三碧・二名（富雄地区）・あやめ池
			2:00～3:00	市保健センター	佐保・都跡・平城西（平城地区）
1.19（水）	2.9（水）	3.2（水）	2:00～3:00	南部公民館	帯解・東市・精華
1.20（木）	2.10（木）	3.3（木）	2:00～3:00	西奈良県民センター	鶯舞・二名（学園地区）・青和・平城西（学園地区）
1.24（月）	2.14（月）	3.7（月）	2:00～3:00	市保健センター	伏見・椿井・大安寺
1.25（火）	2.15（火）	3.8（火）	2:00～3:00	市保健センター	平城・鼓阪・大安寺西
1.10（月）	1.31（月）	2.21（月）	2:00～2:30	田原診療所	田原・水間
1.11（火）	2.1（火）	2.22（火）	1:00～1:30	大柳生小学校	大柳生
			2:00～2:30	相和小学校	相和
1.12（水）	2.2（水）	2.23（水）	1:30～2:00	柳生小学校	柳生

夜間中学生募集

相談は春日中学夜間学級（電話（62）二六二九番）へ

勤労青少年ホーム

（市内大宮町一丁目　電話㉞〇五一六番）

つぎの各教室を開きます。いずれも対象は市内在住・在勤の勤労青少年で初心者。受講希望者は往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて一月十日（消印有効）までに同ホームへ申し込んでください。テキスト代・材料費は自己負担。バドミントン・卓球はラケット、スポーツシューズ持参。各教室とも午後六時半～八時四十五分で、十回で終了。

バドミントン教室　一月十四日～三月二十五日の毎金曜日。十五人。

卓球教室　一月二十日～三月二十四日の毎木曜日。二十人。

華道クラブ　毎火曜日。二十人。

老春の家

（市内法蓮町一七〇二―一　電話㉞三二五一番）

新春囲碁・将棋大会　とき＝一月三十日（日）午前十時▽対象＝市内在住の六十歳以上の人▽参加料＝無料▽参加申し込み＝一月二十日までに電話で同館へ。

史跡文化センター

（三条大路一丁目、電話㉞九〇二一番）

おたのしみ浪曲演芸会　とき＝三月六日（日）午後二～五時▽内容＝京山幸枝若、広沢駒蔵他による浪曲と演歌▽料金＝当日千二百円、前売千円（一月六日から史跡文化センターと老春の家で発売）。

ジャズ・イン・ナラ（真梨邑ケイのリサイタル）　とき＝三月十九日（土）一回目午後三時半、二回目午後六時半▽出演＝真梨邑ケイ、北村英治クインテット、古谷充▽料金＝当日二千円、前売千八百円（一月六日から史跡文化センター、あこや楽器本・支店で発売）。

☆問い合わせは史跡文化センターへ。

武道寒げいこと参禅会

市恒例の剣道・柔道・なぎなたの寒げいこと寒中参禅会が一月二十一日から二十三日までの三日間、市中央武道場（法蓮町一五一六、☎㉞一〇六〇）で開かれます。時間は毎朝六時から七時まで（受け付けは午前五時半から）。参加できるのは市内の小・中・高校生と一般および市内の道場で練習している人。

参加希望者は一月十七日までに、団体参加は学校・学年別の参加者数と引率者または代表者名、個人参加は住所、氏名、年齢、学生は学校名と学年、電話番号を書いて同武道場へ申し込んでください。

犬はかならずつないで飼いましょう

市保健センター

（市内二条大路南一丁目　電話㉞一一一一番）

乳児健康相談　乳児障害の早期発見と予防措置のためにつぎの日程で実施します。対象児は昭和五十七年六月生まれ（すでに奈良保健所か西奈良保健センターで相談した子は除く）で、該当児には問診票を送ります。十一月一日以降の転入者には問診票は届きませんので直接保健センターへ。相談のほか身体計測、運動発達の観察なども行います。時間はいずれも午前九時半～十一時。母子手帳、問診票、バスタオル、替えおむつなどを持参。

1月11日（火）鼓阪・飛鳥・済美・済美南・東市・明治・帯解・あやめ池各校区
1月18日（火）椿井・佐保・都跡・大安寺・鳥見・柳生・大柳生各校区
1月19日（水）大宮・大安寺西・富雄北・富雄南各校区
1月25日（火）六条・平城・平城西・右京・西大寺北・神功・朱雀各校区
1月26日（水）伏見・辰市・精華・田原・相和・富雄第三・三碧各校区

成人病検診

とき＝毎月第二水曜日午後一時半～二時半▽**対象**＝三十五歳～六十四歳で過去一年以内にこの検診を受けていない人▽**内容**＝問診、検尿、身長・体重・心電図測定、診察、保健指導▽**検診料**＝無料▽**定員**＝一回四十五人▽**申し込み**＝電話で市保健センター（二条大路南一丁目、☎㉞一一一一）へ。

―市保健センター―

ゴミ収集

大型有害ゴミ収集

1月

一月の収集はつぎの地区を予定しています（事情により若干変更することもあります）。収集日は約一週間前に該当自治会へ通知します。

鼓阪、椿井、東市、学園北、二名（一部）、登美ケ丘、青和（一部）

有害ゴミは、市が配布した有害ゴミ袋（赤袋）に入れて集積場に大型ゴミと区別して出してください。

一月十五日（土）「成人の日」は「燃やせないゴミ」の収集は休み、該当地区は一月二十二日（土）に収集します。

年始

一般ゴミの収集と搬入

【ゴミ収集】五日（水）から一般家庭ゴミ収集と犬・猫死体の引き取りは平常どおりに行います。

【ゴミ搬入】清掃工場へのゴミ搬入も五日から平常どおり受け付けます。